令和５年１１月２４日（金）

東彼杵中だより

文責：校長　正尾　敏　　第33号

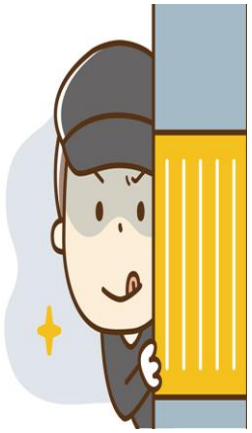
２学期テーマ「学校の危機管理の徹底」

１１月２２日（水）の３校時に東彼杵中として初めての**「不審者侵入想定の避難訓練」**を実施しました。今回は長崎県警スクールサポーターの清水昭英様を講師に迎え、実際に不審者が教室に侵入した想定での避難の仕方や対応を指導していただきました。今回は２年２組の教室に不審者が入った想定で行いましたが、生徒たちは放送後に指示に従って教室の窓から避難し、体育館へ逃げることができました。訓練とはいえ、みんな真剣な表情で、指示通りにきちんと避難することができていました。

体育館では、前に簡易的に教室を作り、不審者が入ってきた場合の具体的な対応についてレクチャーを受けました。また、職員には「さすまた」の使い方についても詳しく教えていただきました。今回の訓練では生徒の避難以外にも、私たち職員がとるべき行動について再確認することができました。例えば、不審者かどうかの見分け方、不審者が教室に入った際の周囲の職員への伝え方、生徒の避難の誘導の仕方、さすまたの使い方などです。不審者が教室に入った際には、必ず職員は教室から離れないことも大事なことです。

学校では、生徒を犯罪被害から守るため、施設設備の状況を踏まえ、必要な体制を整備し、不審者かどうかを確実にチェックできるようにするため、今後もこのような訓練を続けていきたいと思います。さすまたも各階に配備できるよう早急に準備いたします。

不審者情報



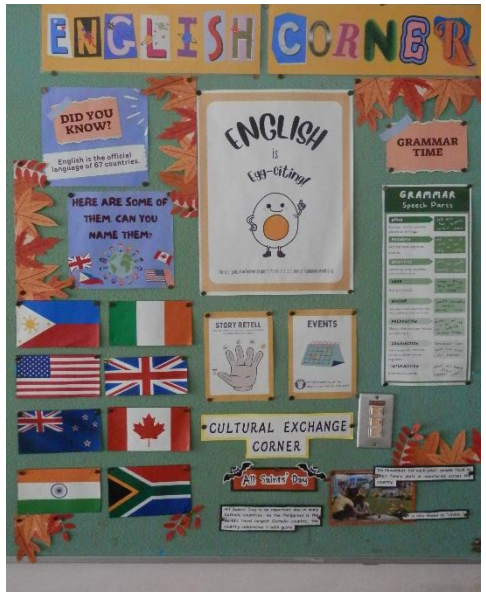
３年生英語「ALTの先生による英会話テスト」

保護者の皆さん、学生時代に苦手な教科は何でしたか？私は一番に「英語」が苦手でした。特に文法が苦手で、大学入試でも常に英語が足を引っ張ってました。今でも、街中で外国人の方に声をかけられると、どきっとします。さて、今回は本校のALTの先生について少し紹介します。

「[redacted]」８月に来日して３か月ばかりしか経っていませんが、すっかり学校に慣れて、授業でも生徒と楽しく活動しています。

「[redacted]」本校には火・木しか勤務されていませんが、昨年まで本校に毎日勤務してましたので、すっかり生徒に馴染んでます。

先日、授業を巡回しているときに、二人のALTの先生が、３年生の生徒一人ひとりと英会話のテストをしてくれていました。近くでその様子を聴いていると、ほとんどの生徒が臆せずに英会話を流暢に話しています。私の学生時代にもこのようなALTの先生がいれば、少しは英語嫌いも軽減したかもと思ってしまいます。２名のALTの先生方が授業にきてくれるのは他市町ではないことです。これからもフローレン先生、フォード先生、よろしくお願いいたします。



ＡＬＴの先生の工夫した掲示板